



小学校算数指導資料を活用し、 組織的に指導改善を進めよう!!



義務教育課では、小学校算数における授業改善を進めていくために、小学校算数指導資料「小学校算数指導改善に向けた教師の学び」（以下、「指導資料」という。）の説明会を、5月に県内5か所で行いました。



指導資料はこちら →

説明会の様子

演習1 「指導改善に向けた5つのステップ」についての模擬校内研修



参加者の感想

学習指導要領と教科書を見比べることで、系統性を意識して授業を進める大切さを改めて感じました。学校全体で重点を決めて取り組む必要があると思いました。

校内研修の時間に「指導資料」を活用したいです。各学年の教科書を見合せて系統性を確認したり、具体を通して先生方が「実践したい」「やってみたい」と感じてもらうことができる校内研修にしたいです。

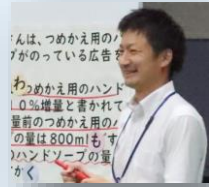
演習2 「算数の指導で大切にしたい3つのポイント」についての模擬授業



参加者の感想

児童の立場で授業を受けてみると、言葉のみでイメージ化する難しさを思っていた以上に感じました。子ども目線に立つことでどのようなことで困るのか、何がわかりにくいのか実感することができました。

具体と抽象を行き来すること、図・式・言葉に関連付けることの大切さについてわかっていても「どうやって子どもに指導するか」「習得させるか」が難しいと思っていましたが、今日、模擬授業を体験することでヒントが得られました。



義務教育課
大平 智也 指導主事

説明会を受けての校内研修（新見市立思誠小学校）

【研修の内容】 指導資料「Ⅱ 算数の指導で大切にしたい3つのポイント」を授業研究の視点に設定し、指導改善に向けた取組を更に進める。

3つのポイント（誤答分析・系統性・数学的表現）をもとに授業参観をした後、適切・効果的であったか、改善するところがあるかについて協議を行いました。



小数のわり算の仕方について実物や図、手の動きによるジェスチャーなど、様々な表現を用いていたので子どもの理解がしやすくなっていました。

新しい計算の仕方を考えるときは、既習の計算をもとにすることについての理解が深まりました。

参加された先生方が、自分の授業にどう生かしていくかを考えることで、授業改善を一步先に進めることができます。是非、各校における校内研修でこの指導資料をご活用ください。



義務教育課
西田 健太 指導主事

